

鍵をかけた玄関がいとも簡単にこじ開けられ、大切なものが盗まれる。こんな不安に襲われたことはありませんか。特殊な工具を使った侵入盗が、全国で急増しています。

大阪府吹田市のマンション5階に住む会社員(48)は、先日、帰宅した途端に言葉をつまみ出した。たんとすや整理棚の引き出しが開けられ、衣類や本が散乱していました。徹夜で後片づけをして、デジタルカメラやバッグなどがなく、気づきました。被害額は30万円相当。家族旅行の写真が詰まったカメラを盗まれたのが、何よりもショックでした。

玄関にはピッキング防止錠を付けていました。しかし、ドアは「サムターン回し」と呼ばれる手口で開けられていました。



こうした侵入盗の手口と防ぎ方は、防犯情報のホームページなどで紹介されています。主なものをイラストにしてみました。本来は鍵の紛失や裁判所の強制執行など、特別な場合に錠前師が使う裏技です。最近、急増している「カム送りの開錠」は、実用新案として登録されたばかりですが、専用の工具と開錠マニュアルがインターネットなどですでに販売されています。

侵入盗を防ぐ心得5カ条

- 一、玄関や勝手口のドアに錠を複数つける。
- 二、窓ガラスは強化ガラスに交換するか、防犯フィルムで補強する。
- 三、門灯をつけ、外扉も見通しが利くものにする。
- 四、防犯カメラやセンサーライトを設置する。
- 五、郵便受けに新聞をためず、洗濯物も干しっぱなしにしない。

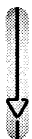
The Asahi Shimbun

のキーワードになります。ドアの錠が2個以上あれば開錠に時間がかかり、大半の犯人は侵入を断念する、という調査結果もあります。さらに犯人は、「音」「光」「監視の目」に弱いとき

複数施錠で「時間稼ぎ」 防犯用品活用も効果的

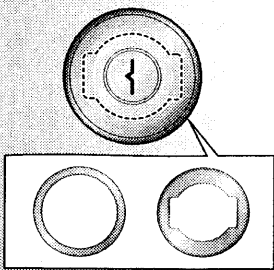
被害に遭ったら、必ず警察に届け被害調書を取ってもらいましょう。犯人逮捕だけだけでなく、保険請求の手続きにも必要になります。警察で被害が確認できた現金や預貯金は、一定額まで補償されます。高額の家具道具や宝飾品も、保険の契約時に申請していれば補償の対象になります。

「置付き」と書かれたタミーステッカーも売っています。



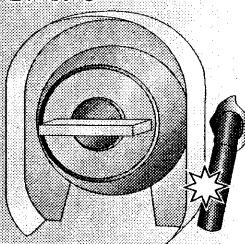
防犯策の一例

シリンダーカバーとドアのすき間を埋めるリングが市販されている

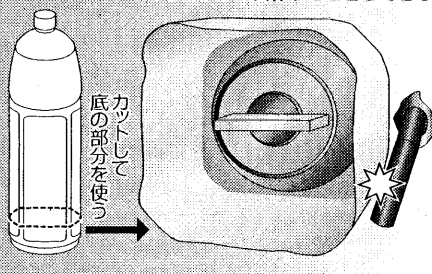


防犯策の一例

鍵のつまみが回せないように周りを覆う円筒状や箱状の対策グッズが、数百円で市販されている



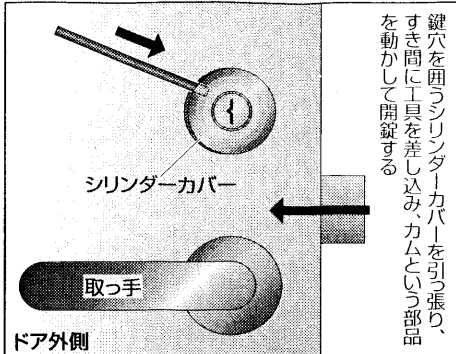
ペットボトルで自作することもできる



The Asahi Shimbun

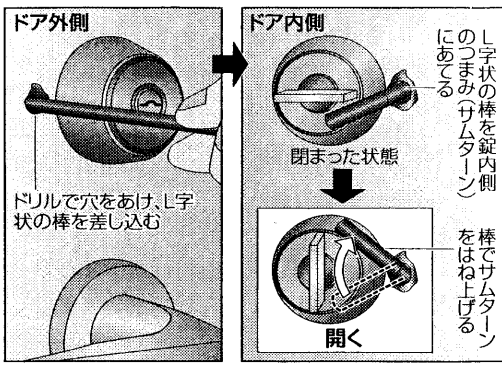
主な開錠の手口と防犯策

「カム送り開錠」



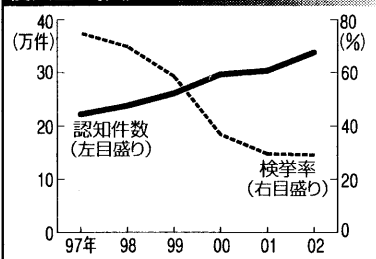
鍵穴を囲うシリンダーカバーを引っ張り、すき間に工具を差し込み、カムという部品を動かして開錠する。

「サムターン回し」



「L」字状の棒を錠内側のつまみサムターンにあてて、棒でサムターンのつまみを回す。

侵入盗の推移



警察庁によると、侵入盗の認知件数は昨年1年間で約33万8300件にのぼり、5年間で1.5倍に増えた。一方、検挙率はこの5年間で75%から29%に低下した。入念に下見してから犯行に及ぶ窃盗グループの暗躍が、背景にあるとみられる。手口別の傾向では、ピッキングが防犯錠の普及で減少し、代わってサムターン回しやカム送りの開錠が増えている。

